

公立高校入試情報 愛媛県

【国語】

令和6年度愛媛県入試の全体傾向

大問1 論説文 原瑠璃彦『日本庭園をめぐる デジタル・アーカイヴの可能性』
大問2 小説 万城目学『十二月の都大路上下ル』
大問3 漢字（読み）
大問4 漢字（書き）
大問5 古文 『耳囊』
大問 作文 文化庁『分かり合うための言語コミュニケーション』
例年同様、説明文・小説・漢字・古文・課題作文という構成である。読解問題のなかに、国語の知識を問う出題がされており、読解力、記述力も合わせた総合的な力が求められる。

■古文の問題の対策

古文は、あまり一般的ではない題材からの出題が続いている。歴史的仮名遣いや、文章に関する会話文を完成させる出題が多く、内容を正確にとらえてまとめる力が必要である。多くの古典作品にあたり、問題練習を重ねるとよい。

■課題作文に関する対策

資料と話し合いの一部を踏まえたうえで、自分の考えを書かせる作文が出題された。例年300～400字の字数が設定され、記述力に加えて提示された資料を読み取る力も必要になる。類題に多くあたって、慣れておきたい。

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
出題内容別の傾向	漢語 字句	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう	●	●		●
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう	●	●	●	
		展開をとらえよう		●		
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう	●	●		●
		文章中の表現を味わおう		●		●
		話題・情報をとらえよう		●	●	●
		指示語・接続語をとらえよう	●	●	●	●
		文章を解釈しよう	●	●	●	●
		理由をとらえよう				●
		段落構成をとらえよう				
		要旨をとらえよう	●	●	●	●
	古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●	●
		古文の会話・主語をとらえよう		●	●	●
		古文の展開をとらえよう	●	●	●	●
		漢文・漢詩を味わおう				
	詩歌	詩・短歌を味わおう				
		和歌・俳句を味わおう				
	文法	文の組み立てを知ろう	●			●
		自立語を学ぼう				●
		付属語を学ぼう	●	●	●	
	表現・情報	敬語を使いこなそう				
		グラフ・図表を読み取ろう		●	●	
		話し合いをとらえよう				
		伝え方の工夫を学ぼう				
		課題作文を書こう	●	●	●	●
		★聞き取り問題				
別出の題傾向式		大問数	5	5	5	5
		小問数	31	34	32	33
		記号解答	7	7	8	8
		記述式解答（漢字の読み書きも含む）	24	27	24	25